| 学校番号 | ２０２ |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高等学校　新地理総合」　（帝国書院）<br>「詳解現代地図 改訂版」　（山川出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | 「図説地理資料　世界の諸地域　NOW　2026」（帝国書院）<br>「高等学校　新地理総合ノート」（帝国書院） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の各地域を横断する視点に立つ。
・地理的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・地域ごとの違いや共通性を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

## 2　学習の到達目標

・現代の社会人に最低限必要な地理についての基礎的知識や考え方を身につける。
・現代世界の諸問題を、地理にもとづいて考え論じる経験をする。
・日本や世界の地理的関係を、自然や文化や経済や産業と関連付けて総合的に考察する。
・地理的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・現代世界の地理的な事象についての基本的なことがらや追究の方法を理解し，その知識を身につけたか。<br>・現代世界の諸事象を系統地理的に考察する方法と現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を理解し、身につけたか。・複数の資料から情報を読み取り、地理的に結びつける方法を理解しているか。 | ・現代世界の地理的事象から課題を発見し、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断しようとしているか。<br>・現代世界の地理的な事象について学習し、それらを地理的な方法で表現することができるか。 | ・中学校社会科における学習の成果を生かし、「地理総合」を学ぶ意義や目的、地理的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしているか。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 第1部　地図でとらえる現代世界 | 1章　地図と地理情報システム<br>1. 地球上の位置と時差<br>2. 地図の役割と種類<br><br>2章　結びつきを深める現代世界<br>1. 現代世界の国家と領域<br>2. グローバル化する世界 | a: 地球上の位置と人々の生活を理解するとともに，地球儀や世界地図を活用する方法を身につけたか。国家の領域に関する知識を身につけ、海洋の役割、領土問題について理解したか。<br>b: 課題を設定し，地球儀・世界地図などを通して多面的多角的に追究し，球面上の世界のとらえ方を考察したか。日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察し、まとめることができるか。学習に役立つ情報を選択・活用する技能を身につけたか，考察・追究した結果をまとめ，発表できるか。<br>c:地球儀・世界地図・GIS などの学習に意欲的に取り組み，それらを活用する技能を主体的に活用しようとしているか。地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、興味関心をもって授業に臨もうとしているか。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>確認テスト<br><br>記述の点検（ノート、ワークシート等） | 記述の点検（ノート、ワークシート等）<br><br>行動の観察 |
| 2学期 | 第2部　国際理解と国際協力 | 1章　生活文化の多様性と国際理解<br>1. 生活の地形と人々の生活<br>2. 世界の気候と人々の生活<br>3. 世界の言語・宗教と人々の生活<br>4. 歴史的背景と人々の生活<br><br>2章　地球的課題と国際協力<br>1. 地球環境問題<br>2. 資源・エネルギー問題<br>3. 人口問題<br>4. 食糧問題<br>5. 都市・居住問題<br>6. 地球的課題の解決に向けて | a: 世界の自然環境や産業・文化の特色を理解できたか，それらをとらえる視点・方法を身につけているか。<br>b: 世界の自然環境や産業・文化に関する課題を設定し，それらを多面的に追究し，人びとの環境をとらえる方法を考察したか。世界の自然環境や産業・文化に役立つ資料を収集し，活用する技能を身につけ，内容をまとめ，発表できるか。<br>C: 関心と課題意識を高め，生活圏・行動圏の国際化事象を核に地域調査に積極的に取り組んだか，それらの技能を主体的に活用するために身につけようとしたか。 | 定期考査<br><br>確認テスト | 定期考査<br><br>確認テスト<br><br>記述の点検（ノート、ワークシート等） | 記述の点検（ノート、ワークシート等）<br><br>行動の観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 第3章　持続可能な地域づくりと私たち | 1章　自然環境と防災<br>1. 日本の自然環境<br>2. 地震･津波と防災<br>3. 火山災害と防災<br>4. 気象災害と防災<br>5. 自然災害への備えと復旧･復興 | a: 日本の地理環境を理解できたか，日本に起こる自然災害の仕組みとそれに対する防災と復旧の取り組みを理解できたか。<br>b: 日本の防災について課題を設定し，復旧の視野からも追究するとともに，地域により防災や復旧の取り組み方が異なることを考察したか。学習に必要な資料を収集し，選択し，活用することを通して，地理的に追究する技能を身につけたか，追究・考察の過程や結果をまとめ，発表できたか。<br>c: 災害の仕組みについて追究する学習に意欲的に取り組んだか，防災や復旧が身近な物事ととらえ、主体的な姿勢でとらえようとしたか。 | 定期考査<br>確認テスト<br>定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>確認テスト<br>記述の点検（ノート、ワークシート等） | 記述の点検（ノート、ワークシート等）<br>行動の観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度